

教育センター学びの丘研修員における学びについて

和歌山市立岡崎小学校

教諭 川内賢太郎

和歌山県教育センター学びの丘における研修員としての研究と修養を通して、教育に関する専門的・技術的な事柄について理解を深められるように研鑽を重ねた。その1年間の学びについて述べる。

研究では、主体的に学習に取り組む態度の評価とそれに基づく指導の充実をねらいとして、OPPシートの活用方法を検討し、所属校での実践を基にその効果を分析した。児童にどのような学習の調整を期待するのか、その姿をいつどのように評価するのか等、この評価の観点に関する課題解決の一助となるような、OPPシートの活用方法を提案できたと感じている。また、評価についての理解を深める中で、授業づくりの基本についても再確認することができた。

修養では、様々な研修を受講する中で、視野を広げることができた。教科に関する研修を受講することで、教育の系統性を重視する縦の考え方や、教科等横断的な指導を意識する横の考え方など、これまでにはなかった視点から教科の指導を捉えることにつながった。また、マネジメントに関わる研修やミドルリーダーの育成を図る研修等の受講を通して、様々なキャリア段階の先生方と交流し、研修テーマに関する議論を重ねることで、学校現場において自身が担うべき役割について考える機会が多くあった。

今後は、研修員として学んだことを生かし、さらに研究を進めていくことで、教育者としての資質・能力の向上に努めていきたい。